

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 11 月 28 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	新田 杉原 南山 田村 中村 牧野 鎌形

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	3人	人	人	7人

前回の改善計画	どんな小さいことでも気付いたことや聞き取った内容を連絡ノートに書き込む。送迎の時などに家族と会話をする機会を持ち家族の声を吸い上げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	どんな小さいことでも気付いたことや聞き取った内容を連絡ノートに書き込むことができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3人	4人	人	人	7人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3人	4人	人	人	7人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3人	4人	人	人	7人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3人	4人	人	人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	送迎時に家族と会話により最近の様子や変化がないか聞いている。連絡ノート、ミーティングを通じて情報を共有している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	家族との信頼関係に至るまでに時間がかかる。連絡ノートによる情報共有が一部の職員しか伝わらず全員に伝わらないことがあった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	連絡ノートやミーティング等を通じて情報共有を確実にしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 28 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 新田 杉原 南山 田村 中村 牧野 鎌形

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	1人	人	7人

前回の改善計画

利用者一人一人に合わせるため機能訓練や脳トレ等の種類を増やした方が良いかもしれない。会話の中で利用者のニーズを引き出す努力を増やしたほうが良い。1人1人の「～したい」をリストにできるノートを作る。月に少なくとも1回は一人一人の「～したい」を聞き取る時間を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果

一人一人に合わせた脳トレ等については、本人の得意分野に合わせて概ねかかわることができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール) 」がわかっていますか?	2人	4人	1人	人	7人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1人	5人	1人	人	7人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2人	4人	1人	人	7人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1人	5人	1人	人	7人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

家族の要望や本人、一人一人に合わせた機能訓練等ができている。間違い探し、将棋、塗り絵など、その人にあった目標に向かって取り組んでいる。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

毎回同じ脳トレを進めてしまうことがある。リハビリを希望されないと実施できないことがある。本人の目標が不明確な人がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

日常生活機能の維持向上のため、必要な機能訓練をしたいという気持ちを利用者と職員と共有して取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 28 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 新田 杉原 南山 田村 中村 牧野 鎌形

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	人	人	7人

前回の改善計画	
連絡ノートなどの活用法を見直す。スタッフ間でより深い相談をしていく。食事や嚥下能力を考え利用者一人一人に合った介護を都度掘り下げ話し合っていくべき。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
体調に合わせて入浴方法を検討したり、食事や嚥下能力を考え、概ね利用者に合わせて提供できた。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1人	4人	2人	人	7人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5人	1人	1人	人	7人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3人	4人	人	人	7人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6人	1人	人	人	7人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	3人	4人	人	人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の状態に合わせた介護がその都度提供できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
自立支援の観点から支援しすぎる場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後も引き続き本人の状態に合わせた支援を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 28 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 新田 杉原 南山 田村 中村 牧野 鎌形

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	2人	人	6人

前回の改善計画	これから地域との関係を構築していきたい。地域や福祉について掘り下げて調べていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人を通じて地域、家族との関係を構築していけるよう努力した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2人	4人	人	人	6人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか?	2人	4人	人	人	6人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2人	3人	1人	人	6人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3人	1人	2人	人	6人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会話を通じて今までの生活スタイルや人間関係の把握ができるよう努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
家族や地域の方とかかわる時間が多く持てない為、本人を取り巻く地域資源を全て十分に把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ひきつづき、地域との関わりを深めていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 28 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 新田 杉原 南山 田村 中村 牧野 鎌形

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	1人	人	5人

前回の改善計画	
連絡ノート等の活用法を見直す。地域資源や地域の情報を調べていく。今できていることに対してより向上できるようにしていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
出来る限り、必要とされる柔軟な支援が行えるように努力した。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2人	4人			6人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が適切に提供されていますか?	6人	1人			7人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4人	3人			7人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5人	2人			7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族や病院、包括支援センターや市との相談連携ができている。スタッフ同士の情報交換や記録の確認などを基にニーズに合わせた支援ができている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
突発的なサービス変更に対して、対応できないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後も本人にとって必要な支援ができるように柔軟な対応を心掛けていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 28 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 新田 杉原 南山 田村 中村 牧野 鎌形

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	2人	人	6人

前回の改善計画	ボランティア等の活動を取り入れていく。近隣に周知してもらえるように、より強く働きかけていく必要がある。ケアマネ業務に関して把握するように努める。今後地域交流が深められるように努力していく。美化運動や地域の祭礼等に参加していく。中学校の職場体験など受け入れる体制を作っていく。オレンジカフェへ参加して地域に貢献する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の方やボランティアの方の受け入れを行い地域の連携を図りました。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2人	4人	人	人	6人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2人	4人	人	人	6人
③ 地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1人	2人	3人	人	6人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1人	1人	3人	1人	6人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ポッチャ等のボランティアさんを定期的に招き地域の方との交流を進めている。葉山地区の総会や夏祭りに参加したり、秋祭りの案内を地域のコンビニエンスストアに張ったり、招待状を出した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の方との交流を持つ機会が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
オレンジカフェなど地域の集まりに参加できる人は参加していく、ひきつづき、秋祭り、音楽会などの行事を地域に案内していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 28 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

7. 運営

メンバー 新田 杉原 南山 田村 中村 牧野 鎌形

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	3人	人	6人

前回の改善計画	今後地域活動に参加できるように取り組んでいく。美化運動や地域の祭礼に参加していけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員、利用者、家族の方からの声を反映して運営を行った。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言う ことができているか?	2人	4人	人	人	6人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に 反映していますか?	2人	4人	人	人	6人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していま すか?	1人	5人	人	人	6人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に 地域と協働した取組みを行っていますか?	1人	3人	2人	人	6人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
気がついた事、思い考えを管理者に伝えられている。介護相談員の方から利用者、家族の意見や苦情を相談などを聞き、事業所の運営に反映することができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域との協働は積極的にできなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後も地域の行事に参加したり、協働した取り組みを行っていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 28 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 新田 杉原 南山 田村 中村 牧野 鎌形

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	3人	人	人	7人

前回の改善計画

今後資格取得やスキルアップに活かせる研修があれば参加していく。全員が研修に参加することは業務上難しいので参加したものがミーティング等で発表し伝達研修という形で機会を増やしていく。包括が開催している研修会などに参加していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

研修機会を設け職員の質の向上をするための取り組みを行った。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5人	2人	人	人	7人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	4人	1人	人	7人
③ 地域連絡会に参加していますか	3人	2人	1人	人	6人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	2人	3人	1人	人	6人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

年2回あい愛全体で行っている研修などに参加、個々でもスキルアップできるよう心掛けている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

資格取得や知識向上の為の研修に参加する機会が少なく、できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

引き続き研修に参加、ミーティング等での伝達研修を充実させていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 28 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 新田 杉原 南山 田村 中村 牧野 鎌形

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	2人	人	人	6人

前回の改善計画	
利用者の守秘義務に関わる内容の話を職員間でする場合は、場所を考える。業務が終わってから話せる内容は業務が終わってから話す。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
人権やプライバシーを尊重できた。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	7人	人	人	人	7人
② 虐待は行われていない	7人	人	人	人	7人
③ プライバシーが守られている	5人	2人	人	人	7人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1人	5人	人	人	6人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	6人	1人	人	人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待は行われていない。個人の話やプライバシーなど守秘義務は守られている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度を必要とされる場合は情報提供していく。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後も人権プライバシーを尊重していく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 あい愛	代表者	堀越 正子	法人・ 事業所 の特徴	楽しく和気あいあいとした場を提供します。 住み慣れた地域で心豊かに暮らしていただけるように生活のサポートをして いきます。 一人暮らしを不安に思ってお年寄りが安心して暮らせる場を検討します。
事業所名	サルビアホーム	管理者	新田 英司		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	人	1人	人	1人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	職員一人一人が継続して振り返りを行うことで、事業所の質を高めていく。	職員全体での評価が行われていることが確認できた。振り返りを定期的に行うことが重要であることが認識できた。	自分や事業所を振り返る良い機会となった。これからも立ち止まって振り返り反省や確認を行っていかこうと思う。	包括支援センターや社会福祉協議会等の外部情報を取り入れながら、今後も職員一人一人の振り返りを行い、事業所の質を高めていく。
B. 事業所の しつらえ・環境	事業所としての環境を整える。より良い環境を考えていく。	事業所内の使い方を考え、レクリエーションをする場所、運動をする場所等、移動し色々試している。	引き続き良い環境を保っていく。防犯カメラなどの設置で安全確保に向けた取り組みを市のサービスを利用して整えていく必要がある。	今後も事業所として居心地の良い空間となるよう快適な環境を維持していく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域に密着し、事業所が地域にとって有益な存在となるように努める。	家族や利用者近隣の方などが必要な時に相談できる場となっていた。また見学などに人が来ることもあった。	回覧板等にあい愛のイベント案内をいれて、事業所の存在を周知してもらおう。気楽に色々な方がふらっと立ち寄れるような場所になると良いかもしれない。	認知症カフェなどへの参加を通じて地域との関わりを広げていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	利用者様と共に地域行事に参加できるような体制づくりをする。	事業所職員が地域行事に参加することはあっても、利用者と共に参加というのはできていなかった。	利用者の運動機能や体調管理を支援し、利用者自身で地域に出向けるような支援が必要と考える。	地域の中で利用者本人の望む暮らしができるように支援する。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議を通じて事業所の取り組みを伝えていく。助言等を反映しより良い事業所を検討していく。	活動内容を運営推進会議にて報告を行ってきた。市や包括、地域の方のご意見やお知らせを頂き対応してきた。	運営推進会議に市の職員等も来て頂いている、オンデマンド交通に対する要望など、色々な方の意見を発信していただける場としたい。	運営推進会議の意見を取り入れながら、地域に根差した事業所になれるように努力する。
F. 事業所の 防災・災害対策	地域と災害時に事業所が果たす役割について検討し、協力体制を作っていく。	AED等の設備があり、防災についての訓練を行っている。地域との協力体制をより深めていく必要がある。	今後は地域の防災訓練に何らかの形で参加をしていきたい。本当の災害に向けた連携を図りたい。AED等を活かし、地域に貢献できると考える。	地域の防災訓練等への参加や自主訓練を通して災害に備える。